

## <公表例>

資料5

### 委員長会議概要

日時 平成27年3月17日(火) 午前11時49分～午後0時7分

出席者 永田正巳議長、奥野英介副議長、栗野仁博総務地域連携常任委員長、  
津田健児戦略企画雇用経済常任委員長、小野欽市環境生活農林水産常任委員長、  
濱井初男健康福祉病院常任委員長、村林聡防災県土整備企業常任委員長、  
吉川新教育警察常任委員長、稲垣昭義予算決算常任委員長、  
前野和美議会運営委員長

事務局 鳥井事務局長、青木次長、川添総務課長、佐々木企画法務課長、米田議事課  
長、企画法務課各書記、議事課各書記、上野、吉川

県政記者 なし

傍聴者 3名

#### 概要

##### 1 今年度の各委員会の活動状況等について

予算決算常任委員長、各行政部門別常任委員長、議会運営委員長から、**資料1**により平成26年度の各委員会の活動状況（重点調査項目の調査、成果及び課題等）について以下のとおり報告がありました。

##### ○ 予算決算常任委員長

平成26年版成果レポートについて、副委員長及び各行政部門別常任委員長と共に、知事に対して、単年度で終わらず、長期的な目標や本県のあるべき姿をしっかりと持った少子化対策への取組を要望しました。

平成25年度決算については、公営企業会計・一般会計・特別会計いずれの決算についても、原案を認定すべきものと決定しました。また、未収金対策等についても引き続き適正に取り組むよう要望しました。

平成27年度当初予算については、「骨格的予算」として編成されましたが、本日、原案のとおり可決とされました。

##### ○ 総務地域連携常任委員長

常任委員会を10回開催。県内調査を1泊2日、県外調査を2泊3日で、スポーツの推進や地域づくりという観点を中心に実施しました。

委員会における主な議論や課題としては、まず、「美し国おこし・三重」については、11月に「三重県民大縁会」が開かれるなど、区切りの年を迎え、これ

までの成果や今後の取組方向について議論がなされました。

自立・持続可能で元気な地域づくりは、これからが本番であり、市町とも連携しながら、事業の切れ目が縁の切れ目とならないよう、しっかり支援していただく必要があると考えています。

スポーツの推進については、平成 30 年にインターハイ、平成 33 年に国体と全国障害者スポーツ大会が本県で開催予定となっている中、「三重県スポーツ推進条例」、「三重県スポーツ推進計画」の策定が進められ、委員会でも多くの時間を割いて議論しました。

今年の国体では、三重県は 32 位まで順位を上げましたが、施設の整備や会場選定、競技力向上の取組等、課題はまだありますが、この良い流れをさらに加速していくことが必要であると考えています。

また、競技で勝つことだけでなく、県民の皆さんが、スポーツに親しみ、楽しむことができることも重要ですので、条例や推進計画に基づく取組について、今後しっかりと注視していく必要があります。

三重県行財政取組については、来年度、最終年度を迎えるということで、取組の総決算、そして次の取組のあり方についての議論が本格化していくと考えています。

その他、県南部地域を活性化するための、基金を活用した取組や三重県総合交通ビジョン等について調査しましたが、これらについても今後、「移住相談センター」やリニア中央新幹線への対応等も含め、幅広い観点からさらに議論を深めていかなくてはならないと考えています。

#### ○ 戦略企画雇用経済常任委員長

常任委員会を11回開催。三重県広聴広報アクションプランやテレビのデータ放送を活用した県政情報の発信について、特に活発に議論がなされました。前者については、当プランに対する意見を聴取するため、北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院の北村倫夫教授を参考人として招致しました。

また、首都圏営業拠点「三重テラス」、中小企業・小規模企業の振興、ステップアップカフェ、人口の社会減対策、女性の雇用支援、包括外部監査結果に対する対応などを中心に議論を重ねました。

次年度の計画関係では、「みえ県民力ビジョン」、「みえ産業振興戦略」、「みえ国際展開に関する基本方針」、「三重県観光振興基本計画」の改定のほか、「三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略（仮称）」、「三重県国土強靱化地域計画（仮称）」、「みえ食の産業振興ビジョン」の策定等が予定されています。

#### ○ 環境生活農林水産常任委員長

文化の振興についてですが、昨年 4 月に開館した三重県立総合博物館 (MieMu) の運営状況などをはじめ、昨年 11 月に策定された「新しいみえの文化振興方針」のあり方などについて審議・調査を進めました。

特に、三重県総合博物館 (MieMu) については、開館以降、順調に展示観覧者

数が増加していますが、今後も引き続き、より多くの県民の皆さんに何度も訪れていただくための手法などの検討について要望しました。

大気・水環境の保全と地球温暖化対策については、総合的な観点から地球温暖化対策について調査してきました。

特に、伊勢市をモデル地域として取り組んでいる、電気自動車等を活用した低炭素なまちづくりについて、今後は、この事業の成果を県内全域に水平展開して、更なる電気自動車等の普及などにつながるような取組として進めていくよう要望しました。

もうかる農林水産業と獣害対策については、農林水産物の6次産業化や高付加価値化などについて調査してきました。

特に、農業は依然として厳しい環境に置かれていることから、今後の農業政策の推進にあたっては、各地域の特性をそれぞれ生かした県独自の政策をしっかりと取り組まれるよう要望したほか、昨年4月からスタートした農地中間管理事業については、農地中間管理機構と一体となって、事業の取組を更に加速させていくよう要望しました。

来年度は、女性の活躍を推進していくための事業や、新たに性犯罪・性暴力被害者を支援するための体制を整備していくほか、水源地域の森林の適正な管理を図るための条例の制定が予定されているとともに、もうかる農林水産業の実現に向けては、みえフードイノベーションや食のバリューチェーンの構築などをはじめ、農林水産物・食品の輸出促進に向けた取組も進められることから、引き続き、これらの取組状況などについて、しっかりと調査・審議していくことが必要です。

#### ○ 健康福祉病院常任委員長

少子化対策の推進については、中期的計画である「希望がかなうみえ 子どもスマイルプラン（最終案）」について議論し、本計画に基づき三重県の少子化対策がより一層効果的なものとなるよう取り組まれることを要望しました。

地域医療体制の整備について、介護・高齢者福祉については、委員会での議論に加え、県内の僻地医療、拠点病院や在宅介護施設、県外の先進事例の現地調査を行うなど重点的に調査を行いました。

障がい者対策については、県外の先進事例の現地調査を行うとともに、スポーツや文化活動を通じた障がい者の社会参加をより一層進めるとともに、障がい者の雇用を促進するため、障がい者と事業主への支援を充実するなどについて要望しました。

その他、県立病院の運営については、現地調査を行いしっかりした議論を行いました。

今後の課題としては、来年度注視していく項目例として、薬物の乱用防止に関する条例制定については、条例の基本的な考え方について、今後6月の常任委員会で最終案が示され、パブリックコメント等を経て9月に議案提出の予定です。各種計画の進捗状況については、「みえ障がい者共生社会づくりプラン」、

「希望がかなうみえ 子どもスマイルプラン」、「三重県家庭的養護推進計画」、「健やか親子いきいきプランみえ（第2次）」、「みえ高齢者元気・かがやきプラン」の計画の最終案が提出されています。

県立病院の取組としては、こころの医療センターが入院医療から地域生活支援の流れの中で外来診療機能強化やデイケアなどの日中活動支援などによる地域生活支援を一層充実すること、一志病院では、地域に密着した医療体制づくり、家庭医を中心とした地域医療の取組について、志摩病院では、医師、看護師の確保について取り組みました。

#### ○ 防災県土整備企業常任委員長

県内調査、県外調査を重点調査項目に沿って実施し、その内容について、委員間討議を活用してしっかり議論し、その結果を12月までに委員長報告として報告しました。

2月10日に常任委員会を開催し、三重県新風水害対策行動計画（仮称）についての調査を行いました。

3月は、当初予算の議論はもちろん委員長報告としては、重点調査項目のまとめ的なことを本日用いました。

来年度は、三重県建設産業活性化プランの次期計画を議論していきたいと考えています。

#### ○ 教育警察常任委員長

学力及び教育力の向上については、授業改善や児童生徒のきめ細かな指導に繋げるために、今年度から実施された“みえスタディ・チェック”について、現場の負担軽減も含め、実効性を高めるための改善を要望したほか、校長のマネジメント、貧困家庭の学習支援等についての議論がされました。

グローバル人材の育成については、スーパーグローバルハイスクールの取組やこれからの小学校における英語教育体制の充実等についての議論がされました。

子どもなど社会的弱者を守る安全・安心な社会づくりについては、今年度から配置された“チャイルドガーディアン”の課題である、関係機関や団体とのネットワーク化推進を要望したほか、高齢者の交通事故対策、子ども・女性を犯罪から守るための先制・予防的活動等についての議論がされました。

平成27年度三重県立高等学校募集定員総数については、従前は報告事項にとどまっていたが、今後は委員会の意見も参酌して策定するよう要望しました。

学力向上等の施策については、物心両面からの環境整備に努め、総合的な教育力の向上と子どもたちの学力の定着及び向上を図られるよう強く要望しました。

8月には、みえ高校生県議会が開催され、「津波対策としての高所移転について（聾学校）」、「高等教育にかかる費用について、通学費用均一化の制度は創設

できないか。若者の活動場所について、時間を気にせず、費用もあまりかからない活動場所が確保できないか。(上野高校)」等の質問がされました。

請願第 48 号「義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求めることについて」他 3 件の請願採択に際し、請願者のうち 2 名を参考人として招致し、慎重に審査しました。

○ 議会運営委員長

年間議事予定に基づき、議事運営についてご協議いただくとともに、議案等の審議にあたっては、効率的、かつ慎重に審議していただけるよう努めました。

昨日の議会運営委員会において、5 月から 12 月までの各常任委員会や分科会の開催順序が決定されました。

